

入れられており、残り1,200万戸が直張りのままです」

「するとこの直張り物件が暑さ寒さや結露、腐食などで困っている可能性があるわけですね。」

「そうです。そのため築20年以上経過した直張り住宅は、建物リスタクが高いため、一度剥がして点検してみましようというのが我々の本業としていところですよ」

「そうなる」と施工業者にとっても単に遮熱塗装を提案するだけでなく、断熱改修など多様な工事が必要になりますね。」

「ただいきなり工事を勧めることはしません。重要なのは診断です。通気構造が取られているのか。断熱材がきちんと施工されているのか。鉄骨造が普及してからは、陸屋根のようなフラット屋根にAICを外壁に施した四角の住宅も出てきましたが、小屋組みの住宅は特に診断をお勧めします。これらの診断に要する時間は30分程度です」

「話は変わりますが、今年1月下旬に国土交通省が住宅内の室温の変化が居住者の健康に与える影響について新たな知見を発表しました。」

「断熱改修による温熱環境の改善が居住者の健康に寄与することを明らか

にしていく動きは以前から把握しています。医療費を下げたいという狙いも垣間見られますが、おそらく国として住宅の断熱性能を一気に高めたなどの狙いがあるのでしょう。今回の発表は、そうした断熱改修の成果の定量化を目指したものだと思います。健康との因果関係が明確になれば、間違いなく断熱仕様は伸びていくでしょう」

「具体的にどのようなことが予想されるでしょうか。」

「基本的にはまず、断熱診断して断熱性能を4等級レベルまで上げることでしょう。新築は別にして、今の既存住宅の断熱性能は1等級程度しかありません。これをリフォームによって、断熱性能のレベルを上げていく。具体的には、既存住宅であれば、壁に断熱材を充填し、窓は内付けのダブルサッシ、床下は発泡系ボード、天井はセルローズファイバーなどを吹き込む方法が一般的かと思われます。こうすることで、極端な話、1個のエアコンで全館を空調することが可能になります。実際、床下を居室環境にするため、基礎を断熱化し、床下から全館冷暖房する住宅も出ています」

「診断の手順については。」

「サーモカメラは有用です。居室の中で温度分布がどのような状況かを見るのにつけてです。戸建てであれば小型のもので充分に対応できます。既存建物の診断の際、まず窓、床下、壁の中を確認します。壁の中は、天井上やコンセントボックスからグラスウールの入り方を確認することができます。もし断熱材がない場合は、少し居室内が狭くなりますが、石膏ボードの上に断熱ボードを内張りして貼る方法がありま

す。床下も同様で滑って断熱材を施すか断熱ボードを張るかです。サッシは内付けのダブルサッシ、窓はペアガラスを使うのが一般的です。価格に関しては一概に言えませんが、断熱性能1等級の住宅を4等級に上げるための断熱リフォームの場合、250万円程度かかります」

「断熱住宅の普及によって、遮熱塗装の普及がますます厳しくなるように感じます。」

「そうした傾向はありますが、結局は適材適所なのだろうと思います。特に金属系の折半屋根での遮熱塗装の効果は絶大です。折半屋根は、工場、倉庫な

どの建物に多く使われていますが、断熱といっても薄いベタ(結露軽減材)が張ってあるくらいですので、遮熱塗料の効果は100%得られます。建物の種類や構造によって、まだまだ遮熱塗装の生かせる余地は充分にあると考えます。ただ重要なのは、遮熱塗料の基本的理論をきちんと把握し、個々の物件に対して適切な診断を行うことです。施主からはプロとして遮熱塗装の効果に對する判断を求められます。決して効果があるなしではなく、正しい診断と正しい効果を説明していくことが重要だと思います」

「ありがとうございます。」

グイヤ スーパーセラミックスIR

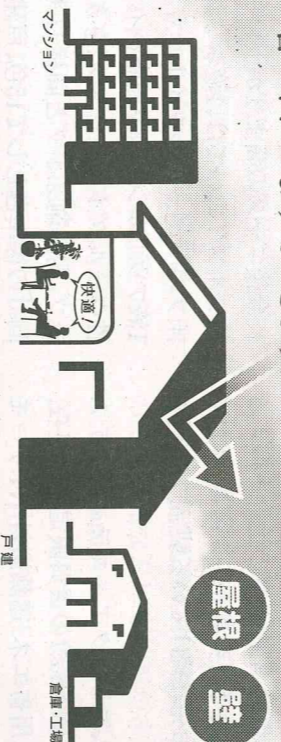
ターペン可溶性変性無機塗料(遮熱タイプ)

有機・無機のハイブリッド効果(超耐候・超低汚染)を

生かしつつ遮熱を実現。

屋根・壁の塗り替えの周期を大幅に伸ばしつつ、

省エネにつなげていきます。



シヤサツ性	グイヤ スーパーセラミックスIR (ウレ-塗布)	高耐候性
全断面(1ヶ所)		S-UV試験
① 表面温度	67.2℃ (-5.6℃)	1200時間クリア (実築20年相当)
② 裏面温度	57.7℃ (-7.4℃)	
③ 空間温度	37.0℃ (-3.0℃)	

()は、非シヤサツ塗料との比較

株式会社 ダイフレックス

〒163-0825 東京都板橋区西新橋2-4-1 新宿NSビル
☎ (03) 5322-7020 FAX (03) 5322-7021
URL <http://www.dia-dyflex.jp>

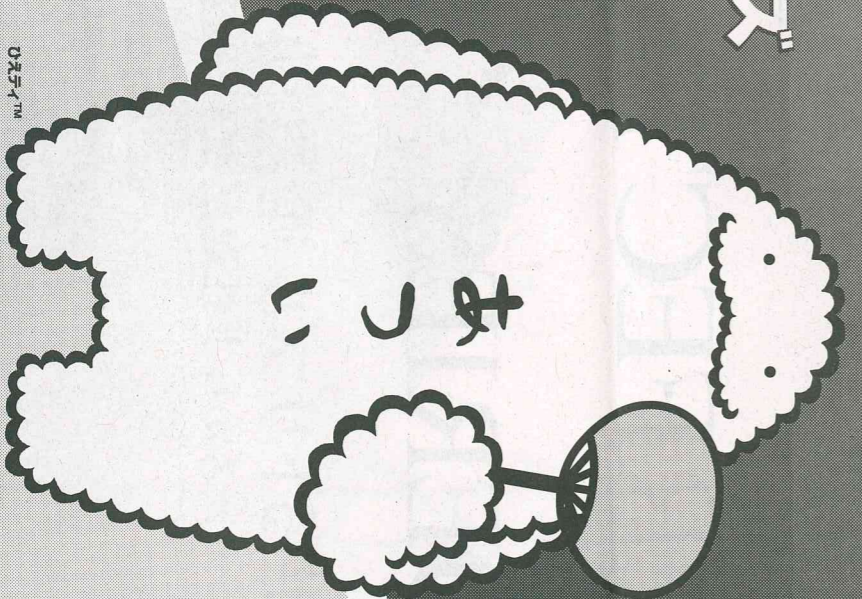
光を反射し、熱を放射する塗料

①の射出機と塗料
カネボウオゾン
別売商品

省エネで環境にやさしく

日差しを受ける建物を遮熱する「エコクールシリーズ」は、優れた遮熱・断熱性能を基本ベースとして、耐久性・耐候性・環境対応・色彩において、さまざまなバリエーションをご用意しています。外気の熱を防ぐことにより、無理なく室内空調の温度を1℃高く設定でき、電気代の節約に繋がります。

遮熱塗料 エコクールシリーズ ECO-COOL



*** 彩りに癒しさをそえて
未来へつなぐ

DNT

DAI NIPPON TOKYO

大日本塗料株式会社
遮熱塗料ターペン可溶性シリーズ
〒106-6466 東京都港区六本木6-6-2
TEL 03-5466-8924 ● 東京 03-5710-4503
<http://www.dnt.co.jp/>
本社 東京都千代田区千代田0120-98-1716